

薬学科卒業論文発表会 発表要旨原稿作成要領

発表要旨は、専用書式（Word）を薬学部 HP よりダウンロードして記入する。ただし、書式のフォーマット（余白、行間、フォント、文字サイズ等）は変更しないようにする。

原稿は PDF 形式に変換し、ファイル名は「研究室 発表者名」とし、LACS（薬学部学生コミュニティ＞6年生＞【提出先】薬学科卒業論文発表会 発表要旨原稿）へ提出する。

発表要旨作成時の注意点

- ・ A4 版要旨 1 枚にまとめる。
- ・ 卒業論文タイトル：最上段に 16 ポイントのフォントを用いて記入する。
- ・ 研究室名および発表者氏名：卒業論文タイトルから 1 行空けて 14 ポイントのフォントを用いて記入する。
- ・ 本文：研究室名および発表者氏名の下に、1 行分の空白を設け、12 ポイントのフォントを用いて記入する。本文は【目的】、【方法】、【結果】、【考察】（【結果及び考察】としても良い）の順に記載し、必要に応じて【参考（引用）文献】や、既に学会や学術誌等での発表がある場合は【発表】の項目を最後にまとめて記載する。
- ・ 図表：図表を用いる場合は、印字範囲からはみ出さないように作成する。

注：特許申請等により、発表内容の紹介に支障がある場合は、支障のない範囲で作成すること。

様式保存場所：薬学部ホームページ

- ホーム > 在学生の皆様へ > 学務情報 卒業論文提出様式等
> 1. 薬学科卒業論文発表会要旨（様式）

卒業論文タイトル

〇〇〇研究室 長崎太郎

【目的】

発表要旨は、聴講者に研究の概略を伝えるためのものであり、短時間で発表内容を理解できるように配慮して作成する。目的の項では、問題提起、研究に至った背景、研究の目的、期待される結果などを簡潔に記載する。必要に応じて図表を用いても良い。

【方法】

目的を達成するために行った実験方法をなるべく具体的に記入する。複数の研究手法を用いた場合は、適宜、取捨選択を行うなど工夫し、最も重要な手法を中心に分かりやすく記載する。必要に応じて図表を用いても良い。

【結果】

発表の最も重要な部分であり、自分の研究により得られた結果を正確、簡潔かつ系統的に記載する。必要に応じて図表を用いても良い。

【考察】

結果（データ）が有する科学的価値に関する考察を行ったり、目的に照らして「結果」を解釈して、研究課題への回答となる命題を引き出したりする。

必要に応じて以下の項目を設けても良い

【参考（引用）文献】 T. Nagasaki et al., *Tetrahedron Letters*, 2011, 45, 156.

【発表】 長崎太郎、第100回日本薬学会九州支部大会, p50, 福岡 (2013).

上記文言はサンプルなので、削除して記入すること